

一宮市都市計画に関する基本的な方針【全体構想編】（素案）への意見に対する市の考え方

番号	意見（概要）	市の考え方
1	<p>一宮市も大きくなりましたので、岡崎市や豊橋市に負けないように、自然豊かな地域であること、また、繊維産業や七夕祭りを広めていただきたい。</p>	<p>関係部署と連携し、一宮市の魅力を活かしたまちづくりに取り組んでまいります。</p>
2	<p>国の政策、これまでの流れを踏襲しただけに感じ、一宮市の独自性・地域性が活かされているとは到底言いがたい内容で、他の自治体が策定するものと全く変わり映えがしない。</p> <p>コンサルタントに丸投げして作成したものではないか。これがもし、真剣に練られたものであれば、行政の力量を疑わざるを得ない。</p> <p>いずれにしろ、一宮市の明るい未来が想像できるものとは感じない。</p>	<p>本市の魅力としては、都会と田舎をあわせた造語である「トカイナカ」、つまり名古屋から電車で10分という距離でありながら、都会の便利さと田舎ののどかさを併せ持つところと考えており、その点を踏まえて策定しております。</p> <p>なお、素案は全庁的な庁内検討会議にて検討し、学識経験者や市内関係団体の代表の方を含めた策定委員会に諮り策定をしております。</p>
3	<p>国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所からのみ、人口推計をしているよう見受けられるが、実住居者数と乖離はあるものの、住民基本台帳との突合せを行って精査してはいないのか。</p>	<p>国勢調査と住民基本台帳との突合せを行っております。</p> <p>両者の人口を比較すると、住民基本台帳人口の方が多くなっています。そのため、より厳しい条件となる国勢調査を元にした国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を用い、課題の整理を行っております。</p>
4	<p>浅井町では人口減少の予測をされているが、同地区の住民としては疑義を感じる。同地区で10年住んでいるが、10年前に比べて、市街化調整区域にも関わらず、農地が著しく減少しており、それに変わって住宅地が乱開発されており、子育て世代がほとんどを占めている。P22に示されている「土地利用の変化」と同様の状況である。人口増とまでは行かなくても、著しく減少する環境ではない。</p> <p>現状把握が違うと、当然、構想に大きく影響するが、現状把握はしっかり成されているのか。</p>	<p>浅井町の現状としましては、法に基づき開発がなされたことにより世帯数は増えていますが、人口は既に減少傾向にあり、今後も人口減少が進むことが予想されます。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
5	<p>P 3 3に「農用地については積極的な・・・無秩序な開発の抑制・・・」はよい取り組みと思うが、これまでは、あまり実行されていないので、乱開発が進んでいるのであり、実現性が極めて低いように感じざるを得ない。具体策までしっかりと落とし込んで頂き、本当に積極的な取り組みを住民の見える形でお願いしたい。</p>	<p>市街化調整区域における農用地の保全については、関係部署と連携し、「市街化調整区域内地区計画運用指針」に基づいた無秩序な開発の抑制などにより取り組んでまいります。</p>
6	<p>災害についての現状の課題として、液状化危険度が極めて高いことが示されているが、P 4 2の都市防災の方針では、全く触れられていない。</p> <p>これは難しい問題であるが、危険性が極めて高いと知りながら、何もしないと解釈するが、よいのか。</p>	<p>災害に強いまちづくりの方針として、公共施設の耐震性の向上や、民間の建築物の耐震改修などの促進、また、防災マップの活用などにより住民への情報提供を行うこととしております。</p>
7	<p>昨年7月に意見を募った「第7次一宮市総合計画（案）」からも約半年経っていて目立った進展が感じられず、また今回この案について意見をつのるサイトで、一宮市上下水道事業経営戦略（案）では、現状の都市計画でこのままの人口統計が、進めば5年後に水道料金10%の値上げが必要と結論づけている。インフラ使用で市民に影響が出ることが予定されているので計画を推進するスピードアップを図る必要があると感じました。実際生活していて、空家に変化は感じず、耕作放棄地、市街化調整区域内の新築住宅は目につくので、時間をかけると、市の進める計画が進み難くなると思う。案にある産業構造の変化は消去法で食品ではなく、名古屋にも岐阜にも魅力的な市場に近く新鮮に配送出来る立地だから食品が多くなっているのではないかと感じた。</p>	<p>都市計画は10年先、20年先を見据えた大局的なものでありながらも、各個別の施策は社会情勢の変化に合わせ、緩急をつけた取り組みが必要であると考えております。いただいたご意見を参考に、関係部署と連携し住みよいまちづくりを進めてまいります。</p>
8	<p>農家の移動は車中心になっているので農地の集約化や工業系用途地域から住居系用途地域への変更、市街化調整区域内の既存集落を低層地域に指定、また、隣接する岐阜県の市町とのつながりを強化し、県外から人を集める立地や歴史、産業遺産を生かした市の敷地利用を上げて住みよい街にしていきたい。</p>	<p>ご意見のとおり、尾張地域の中核となる都市として、岐阜県も含めた広域的な連携や、歴史や文化を活かしたまちづくりは大切であると考えており、本計画にも位置付けております。</p>

番号	意見（概要）	市の考え方
9	<p>都市計画に関する基本的な方針【全体構想編】（素案）はよく出来ていると思う。</p> <p>しかし一宮市には洪水ハザードマップはあるが、内水氾濫ハザードマップはない。政府機関や関係省庁には、内水氾濫ハザードマップの作成の手引きもあるので、都市計画をおこなうためや中核市への移行を見据えて洪水ハザードマップだけでなく、都市化に備えて内水氾濫ハザードマップを作成し、毎年更新を行うようにするなど、都市災害に備えたり、あぜ道のような市道を拡張したり、見通しの悪くなった道路にカーブミラーの取り付けを要請したり、現在は愛知県の管轄下から中核市への移行による権限委譲による不便を発生しないようにしたりして、都市化に備えていくべきだと思う。</p>	<p>内水氾濫ハザードマップの作成や、市道の拡幅、カーブミラーの設置といったご意見・ご提案の趣旨を担当課にお伝えします。</p>
10	<p>浅井町は一宮駅を拠点として南北のバス路線はある程度確保されているが、木曾川町が合併し一宮市となったものの東西をつなぐ公共の足は全く確保されておらず、木曾川町へのルートは一宮駅を経由するしかない。名鉄木曾川駅・JR木曾川駅周辺の開発が構想されているが、交通利便性の確保のため、木曾川町より東部に位置する島村、浅井町、さらには江南市へバス路線を広げてほしい。</p> <p>（例）名鉄江南駅～名鉄木曾川駅、JR木曾川駅のバス路線</p>	<p>本計画の将来都市像にもある多拠点ネットワーク型都市を進める中で、公共交通の充実が必要と考えております。いただいたご意見・ご提案の趣旨を担当課にお伝えします。</p>
11	<p>玉堂記念館木曾川図書館、木曾川文化会館、138タワーパークを中心とした公園・緑地や総合体育館など既存の施設を利用し、周辺部の地域一帯に若年層向けの住宅を開発することで、市街地より広々とした環境が得られ、子育てしやすい街のイメージが得やすいと思う。高齢者にとっても自然環境に恵まれ文化の恩恵も受けられ、また、鉄道も名古屋圏、岐阜、大垣など他県へのアクセスも広がるため、木曾川町を中心にバイパス以北を総合的な文化ゾーンとしてとらえて構想をしてはどうか。また、公共の足が確保できれば車依存の減少に繋がると思う。</p>	<p>本計画においては、将来都市像に「多拠点ネットワーク型都市」を掲げており、副次的都市拠点として木曾川駅、地域生活拠点として、北方町出張所、浅井町出張所などの各出張所を位置づけております。</p> <p>また、138タワーパークや総合体育館一帯はレクリエーション拠点に位置づけており、整備促進及び利用増進を図る方針としております。</p>